

平成24年度第1回小牧市歴史館運営委員会議事録

1 開催日時 平成24年11月26日(月) 13時30分～14時55分

2 開催場所 小牧市役所本庁舎 6階 601-2会議室

3 出席委員

横地 操 浅井 啓介 江尻 鎌市
池田 洋子 木村 芳博

4 説明のため会議に出席した者

教育部長 中嶋 隆 教育部次長 舟橋 泉
文化振興課長 後藤 有嘉 文化振興課長補佐 仲根 伸子
文化財係長 長谷川 潤治 文化財係嘱託職員 中村 麻里
施設活用協会 宮田 孝洋

6 議題

- (1) 小牧市歴史館の運営状況について
- (2) 小牧市歴史館企画展示について

7 会議資料

議事次第

資料1 (小牧市歴史館の運営状況について)

資料2 (小牧市歴史館企画展示について)

小牧市歴史館運営委員会委員名簿

8 会議の傍聴人 なし

(午後 1 時 30 分開会)

事務局

本日はご多忙のところ小牧市歴史館運営委員会にご出席いただき、ありがとうございます。今後の小牧市歴史館の運営について、皆さんの活発なご意見を頂戴したいと思います。

それでは、教育部長の中嶋から挨拶を申し上げます。

事務局挨拶

本日は足元の悪い中、歴史館運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。日ごろからご指導ご尽力をいただきましてありがとうございます。織田信長公が小牧山城に築城して永禄 6 年から 450 年がたちます。市民が信長公などの先人たちの夢に思いを馳せ、将来への夢を描き、更に誇りに思えるまちづくりに向けてチャレンジすること、そして観光まちづくりの始まりとすべく、小牧山城築城 450 年記念事業に取り組みます。教育委員会では、この機会に最近の発掘調査などで、歴史的な価値が見直されております小牧山城や城下町、先日も NHK の歴史秘話ヒストリアで紹介され、関心も高まっています。そういったものを市民に周知し、全国に発信していきたい。その中で歴史館も大きな役割を担うこととなります。本日は歴史館の運営状況と企画展示が議題となっています。来年、小牧山城築城 450 年で様々なイベントが行われれば、今まで以上に各地から歴史館を訪れる人が増えると思います。本日は忌憚のないご意見といただきたいと思います。

事務局

続きまして、委員長からご挨拶をお願いします。

委員長挨拶

部長のあいさつで小牧山の話がでてきまして、先日の広報の裏面にヒストリアの紹介がありましたので、東京や大阪の知人に、コピーして送ったら、反応がありまして、良いところに住んでいるんだなと言われた。一度、小牧に帰ったら見に行くので案内して欲しいといわれた。少しずつ小牧山が有名になってきたところですので、歴史館の充実も大事ですので、これからご意見をいただいて、来館者の期待に応えたい。

事務局

異動職員の紹介

資料の確認

会議公開の確認

委員長

それでは議題に入ります。

議題1 「小牧市歴史館の運営状況について」事務局の説明を求めます。

事務局

(「小牧市歴史館の運営状況について」の説明)

委員長

事務局からの説明は終わりました。

委員

さくら祭りやお月見まつりが増えているのは非常に良いと思いますが、小牧市内から来る方は歴史館への登り方がわかるが、私が名古屋市内で聞いたら、小牧山に登りたいのですが、どうやって登るのですかと聞かれた。その方はメナード美術館に行って、市役所の前を通るたびに登りたいが、何も案内板がないので登れないと言っていた。小牧山の登り口や歴史館の案内があると、外から来た人が登ってみたいと思うのではないか。

事務局

広い史跡公園の中に小牧山へ登っていく案内がないので、どこから歴史館に登っていくのか分からないという声がある。今年度中に案内看板を整備する予定である。今、委員からいただいた意見も併せて考えていきたい。

委員長

余所の人がわかるような案内をお願いします。

委員

平成23年度に小牧市・犬山市・大口町と合同で行ったスタンプラリーで、どのくらい入館者数が増えましたか。

事務局

この期間の入場者数は、10月21日から12月14日までの48日間で6,196人が入館しています。この事業の提案は、犬山の「にわ里ネット」から事業計画をするので、それぞれの市町で連携してやりませんかと話があった。今の小牧を見てみると、歴史に関係するグループが外に連携することがないの

で、今後そういうことも考えていきたいですし、今ちょうど 450 年に絡んで観光まちづくりサポーターを作っていますので、近隣の市町と繋がっていくようにしたい。

事務局

今、確認しましたところ、22年度と23年度を比較しますと、月別の入館者数の集計ですが、11月では入館者数が減っています。月別ですので一概には言えないところです。

委員

24年度でさくらまつりの夜間開放が有料で、お月見まつりが無料であるのは何か理由がありますか。

事務局

お月見まつりは、1日だけであるので無料としましたが、さくら祭りは長期間になるので、今のところは有料としています。

委員

4ページのイベント掲載状況で、できれば天気も書いておいていただけるとよくわかると思う。個人的に思うことですが、文化行政は数値で表れにくいと思うので、地道に連携して行っていくのがあるというのは、新しい動きで良いと思う。一概に数値で評価をするが良いのかどうか含めて、進めるのが良いのではないかと思う。

歴史館の最終的な役割、コンセプトがはっきりすると、それに向けてすべてができるのではないか。犬山城、他のお城もそうであるが、大阪城みたいに大きくないので、違った知恵でもって、いかれると良いのではないかという気がした。

委員長

城についてのみんなの考え方は、テレビなどで派手にインプットされていて、それに比べると歴史館が貧相に見られるので、それをどういう風に説明していくかがこれから出てくる。たとえば、委員が言われたように他市町村の人が来て、あと何メートルで歴史館という風な表示のような、小さい親切心の案内があると良いと思う。

昔、水戸の中学校を回ったら、水戸黄門様の言葉がいろんなところ書いてあった。郷土の英雄などの考え方で学校教育に使ってもいいのが、学校の中にあって感心したことがある。歴史館の4階に写真が貼ってあるが、信長に関係

した「太閤山」「生駒屋敷、岩崎山」などの表示があると親しみが出るのではないか。

委員

NHK の番組を見て、これから全国的に注目されているのだろうと改めて思いました。先ほど言われたPRをするのは今の時代に重要であり、いい価値があってもPRされていないと伝わらないので、きちっといいものを見ていただくための宣伝力を活用されると良いと思う。そういう意味で、NHK の番組は非常に良かった。三英傑の中では信長に対する興味が非常に大きい。それにぴったり合う来年度の 450 年記念事業であるので、信長をもっと前面に出した展示であるとか、信長の小牧山であるというPRをしていけばよいのではないか。

年度別の平成 19 年度から伸びていて、同じような数字が続いている。これが更に伸びていけばと思うが、団体のところが非常に少ない。小・中学校といった学校関係へのPR、もっと市内の学校に小牧山に関する情報があってもよいが、意外に少ない。地元の大事な歴史館を育てるという意味では、子供たちの目に触れさせるためのPRを行ってもよいと思う。学校、または学年での見学も伸びてくる可能性もあるのかと思う。それを見て、親の目にも触れるので、そういったことを考えると良いのかなと思う。

委員長

委員の話聞いて 20 年ぐらい前に教育長から、誰か先生で退職する人で小牧の歴史に詳しい人で、小学生が遠足に来たら説明できるような人を紹介して欲しいといわれた。簡単にやさしく説明できるような人が常駐していると助かるというようなことを思い出した。

では、次に議題の 2 の企画展示について事務局から説明を求めます。

事務局

(「小牧市歴史館企画展示について」の説明)

委員長

説明を受けて、企画展示に佐久間信盛が出てきているが、どうして 450 年の信長がもう少し出てこないのかなという感じがした。

委員

日程が 1 か月弱くらいの企画展になっているが、その間の日曜日だけがガイ

ドが付くと、5日間だけしかガイドが付かないがどうしてか。例えば、他では土日とかが多いと思う。また、常にガイドが説明していただけるのか。もう一つが、ポスター40枚、チラシが1,000枚だが、例えば近郊の歴史関係の施設に行くと思うが、近くのアピタのような商業施設など、人が集まるような施設はどうなっているのか。小・中学校は書いてあるがどこまで貼られる予定なのかと思う。

どうしてそう思ったのかというと、碧南に美術館があるが、周辺の寺や食べ物屋にポスターが貼ってあるので、それを見るとどこでやっているのかとすごく思ってしまう。せめてアピタにでも貼っていただけると良いのではないか。

事務局

いろいろな民間施設、商業施設を開拓する形で声をかけていきたいと思う。今回はポスター、チラシに限りがあるので、効率的に配布ができる形も考えていく。

今ここで出しているのは、24年度の事業で、450年事業という25年の1月から12月がその期間中に該当していくということで、1月・2月にこの企画展をやりますが、春の5月6月くらいのところ、夏休みあたりに子供を中心にしたところ、秋口のところと、25年の1年間を見ると4回行います。PRのほうも限られた予算で割合小さくやってきたところがあるが、今後、外へ向けて出していこうというのもあるので、そういうことも含めて、トータルで450年事業の中で進めていくのかを考えていこうとしています。

誰が来ても説明ができると良いということであるが、常に誰かが居てというのは難しいのかもしれませんが、今作りつつあるのが、小牧駅を降りてから小牧山までをガイドできるような人を、観光分野の方で育てていき、文化振興課で歴史的な部分を教えながら形ができると、観光協会と新しくできる会が結びついて、問い合わせがあればすぐ人を出しますよという形で、春くらいからスタートできるかなと思っています。実際、今の小牧に公共交通で何人いらっしゃるかわからないが、例えば土日に、小牧山にガイドがいて、来た人を自由に案内していただくとか、学校とかが小牧山に来ていただければ、平日でも空いている人があれば案内できるように広げた考え方はもっております。簡単には人材を育成することができないので、時間をかけていきたい。

委員長

昨年も江崎家の企画展の時にも、小牧山と江崎家の関係の質問が出たが、佐久間信盛も説明すれば石垣がでたのでわかるか、よくわからない人もいたので、良いPRができればいい。

委員

企画展のテーマだけでも、もう少し信長が出た方が良いのではないかと。また、グッズとか、何か来たくなるような仕掛けをして、今、歴史がブームでいろんなところに行って、いろんなグッズを買う女性が増えていて、男性は単独でも動くが、女性は団体で動くので、入場者数にも変わってくることに、物に対して女性の方が、執着心があるので、あそこでしか買えないものには弱い気がする。また、インターネットでここにこういうものが売ってましたというのをPRする方がいるので、小牧城に行ったことがないけど、こんなグッズが売っているのなら欲しいとか、口コミで広がるのが一番強いと思うし、ポスターよりも効果があるような気がする。ただ単に、450年記念だけではなかなか来てくれないと思う。

事務局

墨書石材に佐久間の名前が書かれていたことには、歴史的な事実としてすごく重いものがあるって、信長がどんな形で城を作ったのかという取り掛かりにもなることで、当時の信長の編成がどうなっていたのか、どんな形で城づくりをしたのだろうかというところへ迫れる第一歩として取り上げようというものがあります。当初は、小牧山城築城450年事業を平成25年度事業から行うとしていた予算ですので、通常の企画展の予算で行うことになりました。とりあえず1月から450年記念事業を行うとなったので冠を付けてやっております。時期的に1月から2月は、がんばってPRしてもそんなにたくさん来てくれる時期でなく、皆さん寒い中、山の上まで上がらないといけないので、ここは、まだこれから勝負していくものです。

委員

佐久間石の墨書があるということがすごく大事であるということであれば、「信長公の城づくり」とかのタイトルにして、佐久間氏の名前を石に書き付けたのが落書きなのか、所有物なのかどっちですかというような、ちょっと砕けたキャッチコピーでもいいのではないかと。タイトルが固すぎると感じる。

顔写真のことをいつも話すが、子供は、目からインパクトを受けるので、似顔絵とかイメージ図でもあるといい。タイトルも決まっていると思うので、来年度のタイトルは、柔らかくして欲しいし、一番見たい信長のことが出てくるようにして欲しい。

委員

築城450年記念事業への第一歩とはっきり出してもいいし、趣旨も佐久間氏をクローズアップではなく、信長との主従関係をクローズアップしたり、信長

の城づくりと佐久間とのつながりをクローズアップしたりとか、少し信長寄りに変えることは予算の範囲内のできるのかなと思う。はっきりしたものがないと考えれば、最近イケメンの肖像画も出てきているので、あくまでも想像の範囲でやっていますということを表示すれば、子供に対してインパクトのあるものも作れると思う。

委員長

少し砕けた視点で作るのも1つの方法と思う。また、信長のイメージ画がどこかにあるでしょうから、そういったものがあれば、良いイメージが湧いてくると思う。とにかくもう少し信長に焦点を当てたものになれば良いと感じた。

委員

パネルももう完成しているのでしょうかね。

事務局

佐久間氏の絵については、以前に中日新聞に肖像画が掲載されたので、絵の原作者に使用の許可を得たので、その絵については、パネルに掲載していく。

委員

平成25年度はできるだけポスターを多く作っていただきたい。

主題が多少ずれていくことがあるので、今回は第一弾としてあってもいいとは思いますが、歴史館も含めて信長の時代の設定なのか、どの時代か絞っていった方が全体的に上手くいくと思う。そこがはっきりしないと、ずれていく感じがする。先ほどの企画展の名前が固いというのも、名前を見て飛びつくような、答えを言わないものとかにしてもらうのがいいと思う。

秋のお月見まつりで、知立の人が薪能を知っていたので小牧もすごいなと思った。また、明治村で和服を着ていくと無料になるというイベントも上手いなと、そういう案もお願いしたい。

小牧山は、我々のシンボルですので、遠足などで使っていただきたい。

25年度は築城450年で、もうこんな年は来ませんので、商工観光課、商工会議所、観光協会もすごくやれると思うので頑張ってください。

委員長

去年も同じ話をしたが、沢山の記念館等に行ったが、グッズをいやというほどPRしていた。そういうのを見て、活性化のためにいろいろ苦労しているなと思う。歴史館でもグッズがあると相乗的に良くなると思う。高齢者や障がい者が登れるように、たまには小さいマイクロバスで山頂まで登れるようにする

といいなと思う。皆さんの意見を聞いていくと展示もあまり固いものにならないと思う。また、誰か信長節でもいいし、小牧のイメージソングを作ってもらって小牧出身のプロに作曲してもらおう方法もある。

委員

信長の肖像画はあるが、例えば信長のキャラクターを公募して出してみるのもいいと思う。公募すること自体が宣伝になる。

委員長

史実を曲げてはいけないというのと、親しみやすいものにしようという両方があるが、あまり固いことを言わないで、みんなが親しんで歩いて登って良かったと気軽に感じて、小牧山がランドマークとしてすごいなとみんなが思えるようになればいい。

委員

ホームページの効果はかなり大きいと思うので、沢山いろんな意味で掲載していった方が良く思う。

委員

歴史というものは、何が大事なのかというところが、大事だと思う。例えば、算数の円周率が、物事が割り切れないことを教えるための一つのツールだと思う。歴史とは一体何なのかと、この頃よく考えていて答えは出ていないが、そういった根本的なものをひも解いていった方がいいのかと思う。1年や2年ででない事業ですので、ゆっくりとみんなで力出してやっていくのがいいと思う。

委員

せっかくのチャンスの時期だと思うので、このチャンスに上手に乗ってあげばいいと思うし、お金をかけないでのPRの仕方もたくさんあると思うし、どこ組んだらお金がかからないか、単体でやるとお金がかかる気がします。

犬山がタレント使って籠をひいたりして、ちょくちょくマスコミに取り上げられる。せっかく犬山が近いので一緒にやれるといい。

また、グッズでも何でも、何かやりたい人は、いっぱいいると思うので、いろんなことを募集すると良いと思う。

委員

一度犬山でやろうとしてやらなかったが、皆でミクシイやフェイスブックでつぶやくことを考えた。それも一つだと思う

委員

お月見ってお酒と関係するので、小牧でこんなお酒つくっていますよって並べてみて、試飲してもらうことを蔵元とかに声かけたりすればいいのではないかな。

委員長

歴史館や小牧山全体に関わることと、街おこしといろいろな意見が出てきましたが、先生方で分けて考えていただけたようである。あとワンコインの食事が流行っているが、ワンコインの募金を小牧山にするとか、記念のものを作るので募金してくださいとか、生まれた赤ちゃんの手形を陶器に残して、小牧駅から小牧山までが道路ができていないので、ああいうところに手形があるとリピーターができるし、今までと違う街づくりができると思う。他に、事務局で何かありますか。

事務局

こうして話をしていくと広がっていくし、文化振興課の中でも文化財係と文化振興係に分かれています。450年記念事業をきっかけに、商工観光課とか違うところが一緒になって考えることを始めてきたので、今までのように個々の部署がこんなことをやっているという形からは、少しずつ転換していくところに、やっと小牧も来ているように思うので、うまくそれを利用して広げたいなと考えています。

委員長

それでは、議題の審議が終了しましたので、進行を事務局のほうにお返しします。

事務局

ありがとうございました。今回のご意見を参考にしながら歴史館の運営に努めてまいります。

これもちまして、小牧市歴史館運営委員会を閉会いたします。

(午後2時55分閉会)